

新小5 小数のかけ算

■ 積の大きさ

1 より大きい数をかけると、その積はかけられる数より大きくなる
1 より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなる

1 より大きい数

(例) $35 \times 1.7 = 59.5$ → 積(59.5)はかけられる数(35)より大きくなった

$35 \times 1 = 35$

1 より小さい数

$35 \times 0.9 = 31.5$ → 積(31.5)はかけられる数(35)より小さくなった

■ 計算のきまり(計算のくふう)

① $8.9 + 0.45 + 0.55$
 $= 8.9 + (0.45 + 0.55)$
 $= 8.9 + 1$
 $= 9.9$

足し算はどういう順番で計算しても答えは同じなので
0.45 + 0.55 を先に計算すると簡単に計算できる！

② $0.5 \times 2.3 \times 4$
 $= (0.5 \times 4) \times 2.3$
 $= 2 \times 2.3$
 $= 4.6$

かけ算はどういう順番で計算しても答えは同じなので
0.5 × 4 を先に計算すると簡単に計算できる！

【重要公式】 $A \times B + A \times C \Leftrightarrow A \times (B + C)$

③ $12.8 \times 0.03 + 12.8 \times 0.07$
 $= 12.8 \times (0.03 + 0.07)$
 $= 12.8 \times 0.1$
 $= 1.28$

公式を使うと 12.8 とのかけ算 2 回のところが 1 回で終わる！
しかも先に計算する()内は計算しやすい数字になる！

④ 4.2×9
 $= (4 + 0.2) \times 9$
 $= 4 \times 9 + 0.2 \times 9$
 $= 36 + 1.8$
 $= 37.8$

上の【重要公式】を、右から左に変形させるパターン
③では 2 回のかけ算を 1 回にしたが、この場合は 1 回のかけ算を
2 回にして計算しやすくなるようにくふうした！